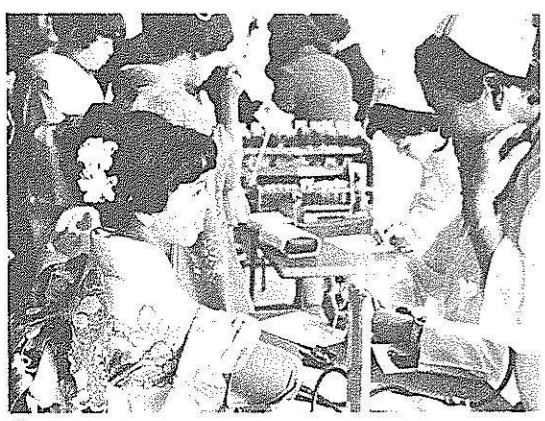


- ▼自主流通米などを中心として、米の販売体制を強めます。
- ▼品質の改善と早期出荷につとめ、南産物の名産を高めます。
- ▼土地の基盤整備をすすめ、機械化や育苗、ライスセンターなどで省力化と増収につとめます。
- ▼兼業農家などのほ場を、専業農家へ委託あつせんするなどの信託事業を行います。
- ▼二期作の品質改善と契約栽培により販路をひろげます。
- ▼(特産) たばこの増収と品質の向上につとめ、共同乾燥施設で省力化をはかります。
- ▼たけのこ栽培園地化して増産し加工製品として販売します。
- ▼花木の団地化をすすめ、研究施設をつくって新種を開発します。
- ▼(畜産) 飼料作目の団地化をすすめます。
- ▼飼料の契約栽培と加工、貯蔵技術の研究、開発を行います。
- ▼ブロイラー、肉牛などの販売をすすめるため、加工や保管施設をつくりまします。
- ▼子牛の集団育成牧場をつくりまします。
- ▼防疫、公害、飼料、衛生などの対策をうちたてます。
- ▼(果樹) みかんの共同撰果場を強化し、有利な販売につとめます。

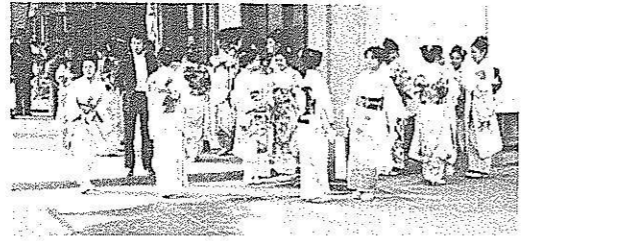
- ▼(信用部門) 外務活動を強め、組合員のサービスにつとめます。
- ▼一戸当たり二百五十万円の貯金をすすめます。
- ▼電気料、各種の税金、年金などの振替制度を行います。
- ▼生活関係の制度資金が手軽に活用できる体制をつくりまします。
- ▼貯金の受け払いが、各支所、出張所で自由にできる制度とします。
- ▼(指導部門) 農村の都市化と組合員の多様化に対応して、おこなわれている生活活動を重視し、地域の生活基盤の計画的な整備と生活防衛など生活面的対策に全力をそそぎまします。
- ▼(指導部門) 生活指導員の設置をはかりまします。
- ▼農協婦人部の組織を強めます。
- ▼後継者を育て、各種グループ活動を強めます。
- ▼生活購買業務のスムーズな運営をはかるため、購買委員会をつくりまします。

- ▼(野菜) ビーマン・シントウ・ナス・キユウリの四大作物を基幹作物として団地化をはかりまします。
- ▼将来性のあるメロン・オクラ・トマトの振興をはかりまします。
- ▼半促成として早堀りのさつまいも、イチゴ、グリーンアスパラの三大作物をすすめます。
- ▼「作らしたら責任をもって売る」を基本に、荷口を大型化して、南産物の名産を高めます。
- ▼冷蔵施設、コールドチェン、真空包装などに取り組み、総合的な加工事業を開発します。
- ▼規模の小さい農家のため、露地野菜を中心とした青果市場を直営でまします。
- ▼(水稲) 伸びゆく市勢を象徴し、郷土愛と市民意識の高揚をはかるため、市のシンボルを募集します。
- ▼県では、花・ヤマモモ、木・ヤナセスキ、鳥・ヤイロチョウを制定しています。
- ▼(購買事業) 購買委員会を設け、計画的な予約購買をすすめます。
- ▼移動購買車の活用で、生活物資の購入に便利をはかりまします。
- ▼住宅、農業用施設の設計と資材を取り扱います。
- ▼生活資材、商品の市場調査、商品モニターなどにより、良い品質を供給します。
- ▼地区内の生産物を組合員に交流供給します。
- ▼生活関連の共同利用施設をつくりまします。
- ▼(共済部門) 組合員一戸当り一千万円の長期共済の保有につとめます。
- ▼自賠責、自動車共済をすすめます。
- ▼契約の維持、保全につとめます。
- ▼(福利厚生部門) 農協総合病院と連携し、定期的な健康診断を行います。
- ▼料理教室を開き、食生活の改善向上につとめます。
- ▼生活文化の向上のため、家の光生活関係誌の普及をすすめます。
- ▼レクリエーション活動を奨めるとともに、「レジャー相談室」をつくりまします。

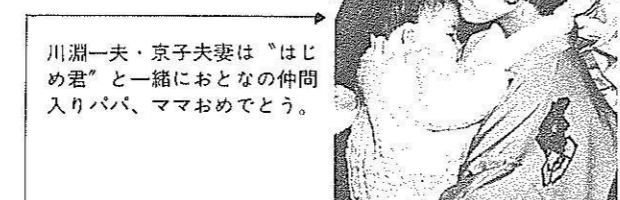
### はたちの表情



うらはずかしい振りそでをサットまくって献血



年ごとに派手になる着物コンクール。だが嗜着でタバコを吸ったりアイスクリームを食べながら歩くのはどうかな!!



川淵一夫・京子夫妻は「はじめ君」と一緒におとなの仲間入りパパ、ママおめでとう。

また、近代的な農業経営に必要な資金などの需要に応じた安い利息の貸付けについては、現在、短期十七億円(年利一・五割)長期十三億円(年利九・五割)を第一年度には、五十億円とし、利息についても短期一〇・五割、長期八・〇割まで引き下げを行います。そして組合員に貸付けできる最高限度(制度資金を除く)を一千万円から一千五百万円に上げまします。

▼共済事業 組合員とその家族の生命、建物その他の財産について、万一の事故による経済的な損失の補てんと長期資金の還元のため、共済保有高を現在の百五十六億円から百九十億円に進めます。

▼販売事業 生産から販売までの一貫した指導を行います。生産された農産物や畜産物の販売は、規格と銘柄を統一し、大量に販売し、他の産地に比べ有利に

取り引きできる体制をつくりまします。青果部門では、共済施設の機能と運営を合理化し、計画的な出荷によって諸経費を少なくまします。また、市況の情報機能を強め、市場開発をすすめるなど、有利な販売につとめるとともに販売代金の決済は本所で一括処理し、少しでも早く精算できるようにまします。

▼加工その他の事業 生産物の商品価値を高めるためよく計画をねって、施設の開発や誘致につとめます。

施設の整備計画 事業計画にもとづいて、次の施設を計画的に設置まします。

▼(新しくつくるもの) 第一年度、育苗センター、たばこの共同乾燥機、花木研究場、自動車、農機センター、電化センター、LPG配送センター、移動購買車、給油所、事務機

▼第二年度、ライスセンター、集果場、撰果場、たけのこの加工場、牧草乾燥機、育成牧場、事務所

▼第三年度、ぶどう撰果場、事務所

▼(改善するもの) 第一年度、みかん撰果場、農業倉庫、農協ストア、肥料倉庫、事務所

▼第二年度、農業倉庫、事務所

▼第三年度、事務所

市の行政と一体となって、地域開発を基本として、農家所得を一戸当たり二百五十万円(昭和五十年)までに引き上げまします。具体的には、次のように計画されています。

▼(野菜) ビーマン・シントウ・ナス・キユウリの四大作物を基幹作物として団地化をはかりまします。

▼将来性のあるメロン・オクラ・トマトの振興をはかりまします。

▼半促成として早堀りのさつまいも、イチゴ、グリーンアスパラの三大作物をすすめます。

▼「作らしたら責任をもって売る」を基本に、荷口を大型化して、南産物の名産を高めます。

▼冷蔵施設、コールドチェン、真空包装などに取り組み、総合的な加工事業を開発します。

▼規模の小さい農家のため、露地野菜を中心とした青果市場を直営でまします。

▼(水稲) 伸びゆく市勢を象徴し、郷土愛と市民意識の高揚をはかるため、市のシンボルを募集します。

▼県では、花・ヤマモモ、木・ヤナセスキ、鳥・ヤイロチョウを制定しています。

▼(購買事業) 購買委員会を設け、計画的な予約購買をすすめます。

▼移動購買車の活用で、生活物資の購入に便利をはかりまします。

▼住宅、農業用施設の設計と資材を取り扱います。

▼生活資材、商品の市場調査、商品モニターなどにより、良い品質を供給します。

▼地区内の生産物を組合員に交流供給します。

▼生活関連の共同利用施設をつくりまします。

▼(共済部門) 組合員一戸当り一千万円の長期共済の保有につとめます。

▼自賠責、自動車共済をすすめます。

▼契約の維持、保全につとめます。

▼(福利厚生部門) 農協総合病院と連携し、定期的な健康診断を行います。

▼料理教室を開き、食生活の改善向上につとめます。

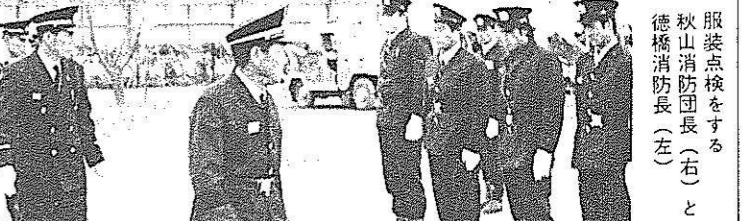
▼生活文化の向上のため、家の光生活関係誌の普及をすすめます。

▼レクリエーション活動を奨めるとともに、「レジャー相談室」をつくりまします。

### 応募規定

- ▼資格 南国市民に限る
- ▼応募 ハガキに花・木・鳥・獣(けもの)をそれぞれ一つづつ書くこと
- ▼締めきり 三月十五日(水)
- ▼送り先 市役所、広報委員

### 消防出初め式



服装点検をする秋山消防団長(右)と徳橋消防長(左)

十二分団から消防車二十三台、団員三百二十人が参加、おからの寒風のなかで模範操法や競技を行ない火災と風水害に対する守りを新たにましました。

消防競技は20点満点のうち19点をとって堂々優勝の香南分団へ